



医療経営士ニュース | これからの医療現場を担う経営人材のための機関紙

MMS NEWS

2025 8 月号
Vol.174
毎月1回発行(通巻174号)
編集:日本医療企画

一般社団法人日本医療経営実践協会 〒104-0042 東京都中央区入船3-8-7 ザ・ロワイヤルビル5階 TEL.03-3553-2906 http://www.JMMPA.jp/

第14回「全国医療経営士実践研究大会」神奈川大会・大会運営委員長からのメッセージ

原点から医療経営を問い直し 共に語り、考え、築く大会に

11月22日(土)・23日(日)に開催される第14回「全国医療経営士実践研究大会」神奈川大会。今大会の大会運営委員長を務めるのは、済生会横浜市東部病院院長の三角隆彦氏だ。同院はこれまでに多くの医療経営士を輩出し、資格の資質・認知度の向上に寄与したとして、第9回東京大会で当協会創立10周年記念「功労賞」を受賞している。今大会開催に向け寄せられた、三角氏からのメッセージをお届けする。

刻々と変化する時代のなか 原点に立ち返る意義とは

このたび、全国医療経営士実践研究大会を神奈川県にて開催できる運びとなりましたことを、心より嬉しく、また、身の引き締まる思いです。

本大会のテーマは、「医療経営士の原点から考える未来——強固な経営基盤を確立させる戦略的マネジメント」といたしました。

少子高齢化が進む中で、社会保障制度の持続可能性、医療資源の最適配置、人材の確保と育成、そして医療機関としての価値の再

構築など、私たち医療経営に携わる者に求められる課題や責任は年々重くなっています。刻々と変化するVUCAの時代において、経営に対する視座もまた、より戦略的に、より実践的に深化し続けています。

私たちは今、社会の大きな転換点に立っています。そして同時に、次世代へどのような社会や医療を受け渡していけるのか。その責任を担う立場にもあるのです。

こうした複雑で多層的な課題に対峙する今こそ、制度や構造に頼るだけでなく、自らの「原点」に立ち

返り、地域や組織を支える強固な経営基盤とは何かを問い直す好機ではないでしょうか。

「はじまり」の地から 医療経営の未来を考える

今回の開催地・神奈川県は、幕末の開港以来、異文化が流入し、日本におけるさまざまな「はじまり」が生まれた地です。鉄道、新聞、パン、西洋医学、そして病院制度——いずれもこの地から全国へと広がっていきました。多様性を受け入れ、融合し、新たな価値を生み出してきた神奈川の風土は、まさに今、医療経営に求められる視点と響き合うものがあります。

医療経営士の皆さまと共に、私たちの原点を見つめ直しながら、実践知と戦略的思考を持ち寄り、次代の医療をより良いかたちでつなげていく。そのための対話の場として本大会があります。

共に語り、考え、そして築く。この貴重な時間を、ここ神奈川で一緒にできることを心より楽しみにしております。
どうぞ二日間、実りある時間をお過ごしください。



大会運営委員長
三角 隆彦 (みすみ・たかひこ)

1981年慶應義塾大学医学部卒業。同大学病院、済生会神奈川病院、足利赤十字病院、平塚市民病院などで外科、心臓血管外科の診療に携わり、2007年に済生会横浜市東部病院に入職。副院長・心臓血管外科部長を経て2011年より現職。専門は心臓血管外科。慶應義塾大学医学部客員教授、横浜市医師会理事、神奈川病院協会常任理事、横浜市病院協会常任理事、全国済生会病院長会会長、全国公私病院連盟副会長、日本病院会常任理事、社会福祉法人恩賜財団済生会理事、等要職多数

第14回 全国医療経営士実践研究大会 神奈川大会

大会テーマ

医療経営士の原点から考える未来

——強固な経営基盤を確立させる戦略的マネジメント

開催日

2025年
11月22日(土)
23日(日)

大会運営委員長 | 三角 隆彦 | 社会福祉法人恩賜財団済生会支部神奈川済生会横浜市東部病院院長

会場 | ステーションコンファレンス川崎

大会特設サイトより
参加申込受付中!



医療経営指導士として挑む 新たなマネジメント人材育成



昨年、医療経営士1級試験に合格した、社会医療法人抱生会丸の内病院診療支援課係長の田中大貴氏。自ら学んできたことを生かし、貢献できる機会を作りたいたいの思いから、今年、医療経営指導士として登録した。医療経営指導士として何を指すのか、これからのようなことを実現させていったのか。田中氏にお話しいただいた。

資格取得のきっかけと、
見えてきた「課題」

私が医療経営士の資格を取得したのは、以前の勤務先での経験がきっかけでした。当初は診療情報管理士としてDPCデータ分析などを行っていましたが、より細かい検証を求められるようになり、分析の幅を広げ、どのような情報がどこにあるのかといった引き出しを増やしていく必要が出てきたのです。

これを実現するためには診療報酬や組織マネジメントといった仕組みを体系的に学び、病院運営全体を俯瞰する力が必要でした。そのような折、先輩に勧められたのが「医療経営士」の資格取得だったのです。

最初は2級資格取得を目標に勉強していたのですが、企画部署へ異動となったことで経営層へのプレゼンテーションを行う場面が増え、知識をインプットするだけでなく、相手に伝える

るアウトプットの重要性を痛感するようになりまし。そのスキルが問われる1級試験の論文とプレゼンテーションが、まさに自身が課題とするテーマと合致していたため、同試験への挑戦を決意したのです。

1級合格後、私はこれまでの経験と知識のフィードバックの場を求め、「医療経営指導士」の資格申請を行いました。資格取得をゴールとせず、「院内外で自分が学んできたことを生かして貢献できる機会が欲しい」という思いが今の私の原動力となっています。

医療経営指導士として
新たな挑戦を

現在の病院（民間）に転職したのは約2年前ですが、病院勤務の経験は10年以上になります。以前は公立病院にも勤めていた経験があり、公立と民間の両方を経験してきたからこそ、それぞれの病院に「良いところも悪いところもある」

と感じています。

現在の病院の良い点としては、組織としてのガバナンスが効いていてトップダウンでの意思決定が非常に速いことです。しかし一方で、それぞれの部署で目的意識を持って仕事をしているのですが、部署間の連携に課題があり、ヨコの連携がもっと密になれば効率も上がると思いますし、組織力や収益性を高める余地は十分あると考えています。

私の最終的な目標は医療業界のなかでマネジメントに関心を持つ人材を増やすことです。その前段階として、目的意識を持って取り組める人をもっと増やしたいと思っています。今はワークライフバランスを重視する職員や現場での仕事にこだわる職員など、働き方も多様です。そのような中でも、「自分はこうなりたい」「こういう提案をして医療職と一緒にやってみたい」という前向きな職員を増やしていきたいと考えています。

昨年、院内の学術大会に演題を出させてもらって、発表する機会をいただきました。事務職員も提案する力を身につけることで、組織内での存在価値を高めてほしいと思ったのです。今年5月には山梨で開催され

た、東京・ちば・山梨の医療経営士自主研究会が企画した合同研究会に参加させていただきました。同じ目的意識を持っていての方との意見交換を通して、自分の知識を深めることもそうですが、モチベーションを高めるためにもこういう場が大切だということに改めて感じました。そうした場を設けていくことも、医療経営指導士としての今後の役割のひとつだと考えています。

山梨研究会の代表を務めている宮沢圭一さん（社会医療法人加納岩）には、以前より「何か一緒に企画できれば」というご相談をいただいております。自分自身もまだまだ勉強中の身です。院内外問わず、いろいろな方と情報交換しながら、学べる環境を広げ、将来的には長野県でも活動の基盤を作り、勉強会等を企画していければいいですね。

社会医療法人抱生会丸の内病院

住所：〒390-8601
長野県松本市渚1丁目7番45号
電話：0263-28-3003（代表）
病床数：199床
（一般病床130床、
地域包括ケア病床58床、
緩和ケア病床11床）
<http://www.marunouchi.or.jp/>

最新医療経営 PHASE3

最新情報を踏まえ新たな病院像を描く
「経営の時代」の羅針盤

9月号

好評発売中!!

特集

病院が取り組むまちづくり 今こそ、“ホスピタウン”を目指す

地域の病院経営が厳しさを増すなか、病院を核にしたまちづくりが進む地域が多数存在する。早稲田大学人間科学学術院の松原由美教授が「地域のまちづくりに病院が取り組むことは大きなメリットがあります」と述べるとおり、病院が地域の活性化に果たす役割は大きく、地域にとって医療を提供する病院は不可欠な存在でもある。そこで本特集では、2025年7月に新築移転した東京都杉並区の河北総合病院と杉並区を参考事例として取り上げ、新しい病院経営の在り方を探る。

詳細・ご購入は
こちら



神奈川研究会主催「合格者のつどい」 新たに出会う同志とともに踏み出す 医療経営士としてのはじめの一步



日本医療経営実践協会関東支部神奈川研究会は8月22日(金)、かながわ県民センター(神奈川県横浜市)において、同研究会としては初となる「合格者のつどい」を開催した。6月に実施した第45回医療経営士3級資格認定試験の合格者を中心に、神奈川県内をはじめ各地から約30名が参加した。

支部活動の様子を通して 医療経営士の魅力を伝える

「合格者のつどい」は医療経営士試験を合格した方に向けて、資格取得後の協会のサポートの説明や医療経営士の活動紹介を通して、医療経営士の魅力を再確認してもらい、資格取得の後押しをする場として設けられている。かつては関東支部をはじめ全国の支部主催で開催されていたが、コロナ禍以降は開かれていなかった。今回、新たな医療経営士とのネットワークづくりに向け、神奈川研究会から「ぜひ自分たちで開催したい」という声が上がリ、久しぶりの開催が実現した。

冒頭、日本医療経営実践協会より医療経営士の資格制度及び協会活動についての紹介が行われた後、神奈川研究会世話人代表を務める金城悠貴氏(済生会神奈川県病院経営戦略課長)が登壇。医療経営士の自主研究会についての紹介が行われた。

金城氏は、まず昨今のわが国の財政状況から解説をスタートし、医療保険財政の現状や今後の人口推移等を踏まえて「このままで後何十年ももつのか?」と疑問を提示。未来に向けてわが国の保険医療を守っていくためには医療機関がしっ

かりとした経営を行っていく必要があるとし、だからこそ経営を学んだ医療経営士の存在が重要だと強調した。

そのためには、医療経営士が身近で定期的に学べる場が必要と考え、神奈川研究会の創設に至ったと述べた金城氏。2014年4月に初めての研究会を開催して以来10年以上活動を継続し、昨年には50回を突破したこれまでの活動を紹介した。

また研究会の中身についても、以前は外部から講師を招いての講義形式で行っていたが、最近では参加者同士が対話しながらそれぞれの考えを掘り下げていくスタイルで開催するようになったと説明。現状を良しとせず常に新たなステージを求めていく研究会の姿勢も伝え、「これからもさまざまな活動を行っていくので、ぜひ参加して、共に医療経営を考える同志として活動してほしい」と訴えた。

新たな同志との出会いの場が 新たなステージへの第一歩

講演後には会場に参加した神奈川研究会の事務局を務めるメンバーや常連参加者が自己紹介とこれからの抱負等を語り、今後の研究会への参加を呼び掛けた。終了後に開催された懇親会にも多くの参加者が足を運び、医療経営をテーマに熱く

語り合う様子が見られた。参加者からは「運営されている方が持っている熱い思いがわかって嬉しかった」「実際に医療経営に携わっている方がどんな視点を持っているのかが垣間見られ、参考になった」「これからも積極的に参加し、学びを深めていきたい」等の声が聞かれた。

合格者のつどい開催に当たり、金城氏は「医療経営士の資格を取って勉強会に参加したときに、自分と同じような思いを持った方と出会えたことで勇気づけられた」と語っていた。今回のつどいに参加された方にとっても、新たな同志との出会いの場となったのではないだろうか。

神奈川研究会では今後も3級試験の合格発表が行われるタイミングと合わせ、年3回この「合格者のつどい」の開催を予定している。他の地域支部や自主研究会でも、ぜひ開催を検討していただきたい。



神奈川研究会世話人代表の金城氏からの熱い言葉に、参加者は真剣に耳を傾けていた

病院・介護給食経営改革
~どうする!? 未来~

監修 一般社団法人ヘルスケアフードサービスシステム協会
著者 株式会社ミールシステム ほか

定価: 3,300円(本体3,000円+税) 体裁: B5判/264ページ
発行: 2024年9月 ISBN978-4-86729-344-7

【お問い合わせ先】株式会社日本医療企画 ☎03-3553-2885 <http://www.jmp.co.jp>

悪化する病院・介護施設の給食経営に
改善の指針を示す1冊!

病院・介護給食経営改善 ~どうする!? 未来~

人手不足や高齢化、経費高騰で問題山積の給食業務の解決に向け、昨今の病院・介護給食を取り巻く環境・問題からクックチル、アッセンブリ、ハイブリッドなど新しいシステム、献立作成、システム選定、厨房設計の考え方と使用機器、事例集…と幅広い内容を掲載。給食運営の今後の方向性を考えるための情報が詰まった1冊です。

事務局掲示板

第14回全国大会神奈川大会のポスターが完成
掲示していただける会員の方を募集中！

第14回「全国医療経営士実践研究大会」神奈川大会のポスター（B2サイズ）のビジュアルが出来上がりました。こちらを掲示していただける会員の方を募集します。ご希望の方は「全国大会ポスター希望」と件名をつけ、お名前、認定登録番号、送付先住所、電話番号、必要枚数を明記の上、下記メールアドレスまでご連絡ください。ポスターは9月上旬から順次お送りさせていただきます。

【ポスターのお申し込み】

E-mail : info@jmmpa.jp



医療経営士の所属をPRしよう！ 所属先の掲載ご協力をお願い

当協会のホームページでは、会員の皆さまから掲載の同意をいただいて、医療経営士が所属する医療機関・企業名を公開しています。

医療機関の抱えるさまざまな経営課題を迅速かつ確に解決できる能力を持つ

た医療経営士の所属先を公開することで、経営力を持った医療機関であること、医療機関のマネジメントを支援できる人材を有する企業であることをアピールすることができます。掲載の同意をいただける方は、下記URLからご登録ください。

【ご登録はこちらから】

<http://www.jmmpa.jp/support/cat108>

協会事務局からのお知らせ

郵便料金改定等に伴う
会員関連料金の変更について

昨今の物価上昇に比べ、昨年10月1日より郵便料金が変わりました。これらにともない、これまで消費税改定時を含め据え置いてまいりました会員関連の料金を順次変更しております。本年9月度の会員登録（認定証交付日9月15日、申請書到着日2025年4月16日以降の申請分）より、下記新価格の適用となります。ご理解のほど宜しくお願いいたします。

●2025年9月度の会員登録より変更となる料金

| 名目 | 対象 | 現行価格 | 新価格 |
|-------------|----------------|---------|---------|
| (1) 登録料 | 個人正会員 | 10,000円 | 11,000円 |
| (2) 年会費 | 個人・法人正会員 | 10,000円 | 11,000円 |
| (3) 更新料 | 3級・2級・1級 | 10,300円 | 11,000円 |
| (4) 等級変更手数料 | 3級⇒2級 2級⇒1級 | 2,600円 | 3,300円 |

お問い合わせ先 一般社団法人日本医療経営実践協会 事務局
Tel:03-3553-2906 E-mail:info@jmmpa.jp

日本医療経営実践協会 支部研究会スケジュール

| 開催日 | 開催支部 | テーマ | 講師 |
|----------------|------|--|---|
| 2025年9月6日(土) | 関西 | 第39回関西医療経営勉強会 「なにわの下町で取り組む病院改革 ～過去・現在、そして未来へ～」 | 狭間研至 氏(医療法人嘉健会思温病院理事長・院長、 ファルメディコ株式会社代表取締役社長) |
| 2025年9月11日(木) | 九州 | 医療経営士南九州支局研修会 「地域の医療機関が抱えるデータ分析需要に どのように応えるか？ ～オープンデータを利用した 潜在需要分析の考察と解説～」 | 小原 仁 氏(久留米大学 医学部医療検査学科 准教授/ 日本医療・病院管理学会認定研究会 全国病院情報活用事例研究会会長) |
| 2025年9月19日(金) | 関東 | 第58回神奈川研究会 「経営課題の未来を考える ー第2章ー モノ編」 | ※参加者同士のディスカッション形式で開催 |
| 2025年10月10日(金) | 関西 | オンラインセミナー 「進化と淘汰の時代に備えた、 ポスト2025の医療機関経営」 | 古株靖久 氏(病院事業・介護事業アドバイザー/ 医療経営士2級) |
| 2025年10月17日(金) | 東北 | みやぎ仙台ネットワーク 30回開催記念特別セミナー 「2026年度診療報酬改定の方角性を踏まえた 病院経営をどう考えるか」 | 井上貴裕 氏(千葉大学医学部附属病院副院長、 病院経営管理学会研究センター長、 ちば医経塾塾長) |

※日程等は変更になる場合があります。詳細は協会ホームページでご確認ください。

新年度からの研修教材として最適！ オンデマンド職員研修講座シリーズ

好評配信中！

日本ヘルスケア
経営学院
公開講座

新入職員研修
ミドルマネジャー研修 WEB講座

講座概要



●講師
石井富美氏
(多摩大学医療・
介護ソリューション
研究所副所長)

【新入職員研修WEB講座(全6回)】

●講義時間…各回約20分
●受講料…各回 :1,100円
3回セット :2,750円
全6回セット :4,950円

【ミドルマネジャー研修WEB講座(I/II)】

●講義時間…講座I:約120分/講座II:約90分
●受講料…講座I:7,150円/講座II:5,500円/
I・IIセット:11,000円

※講義終了後に内容の理解度が測れる「確認テスト」付き ※受講料はすべて税込



【お問い合わせ先】日本ヘルスケア経営学院 事務局(日本医療企画内) ☎03-3553-2862 <https://hcmi-s.net/>